



9月15日、潮寿荘では敬老会が行なわれました。潮寿荘の最年長の方は、104歳のイセさんです。今年は、90歳以上の方17名が赤いちゃんちゃんこを着たほか、米寿2名、喜寿1名の方にお祝いの色紙が渡されました。赤いちゃんちゃんこを着た一人、キヨさんは、ちゃんちゃんこを手にして「エへへ、恥ずかしいね」と照れていましたが、身につけると「どうかな?似合うかな?」と少し嬉しそうにしていました。

乾杯の音頭を取ってくれたのは、96歳のマツ子さんです。マツ子さんは始まる前、「わしにできるべがあ〜」「いやあ、ははは」と言いながら乾杯の練習をしていましたが本番では練習の成果が出て、しっかりと声で乾杯の発声をしてくれました。会食には、いなり、太巻き、ザン

潮寿荘

土花 喜代治



平成27年10月15日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮寿荘
記事：10月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：土花 喜代治(89歳)

いつもはかなり食べるペースが速い皆様なのですが、今回はゆっくり味わってくださっているのか、なかなか食べ終わらずアトラクションの始まりも遅れてしまいました。アトラクションは、潮寿荘職員によるダンス。潮太郎職員による踊り。そして、ボランティアとして参加して下さった『さくら会』の皆さんによ

る江戸芸カッポレと、たいへん盛り上がりました。でも食べることが大好きなセツさんは、盛り上がりで最ももくもくと食べ続け、アトラクションと食事が終わったところで「美味しかったですか?」と尋ねると「おなか、いっぱい」と満面の笑みを見て下さいました。

敬老会では、21組のご家族の皆さんが参加下さり、一緒に食事やアトラクションを楽しみました。来年もまた元気な入居者の皆さんと沢山のご家族の皆さんと長寿をお祝いしたいと思います。

御家族の皆さん、さくら会の皆さん、ありがとうございました。
(福山雅治より3日早く入籍した新婚ほやほや介護士・尾上)



ご家族ご祝いの色紙を受け取る 雀代さん



9月27日、みんなで月見うどんを食べて、歌を歌って、月見団子を食べながらお月見をしました♪

